

# 史跡甲立古墳事前遺構確認調査遺跡見学会

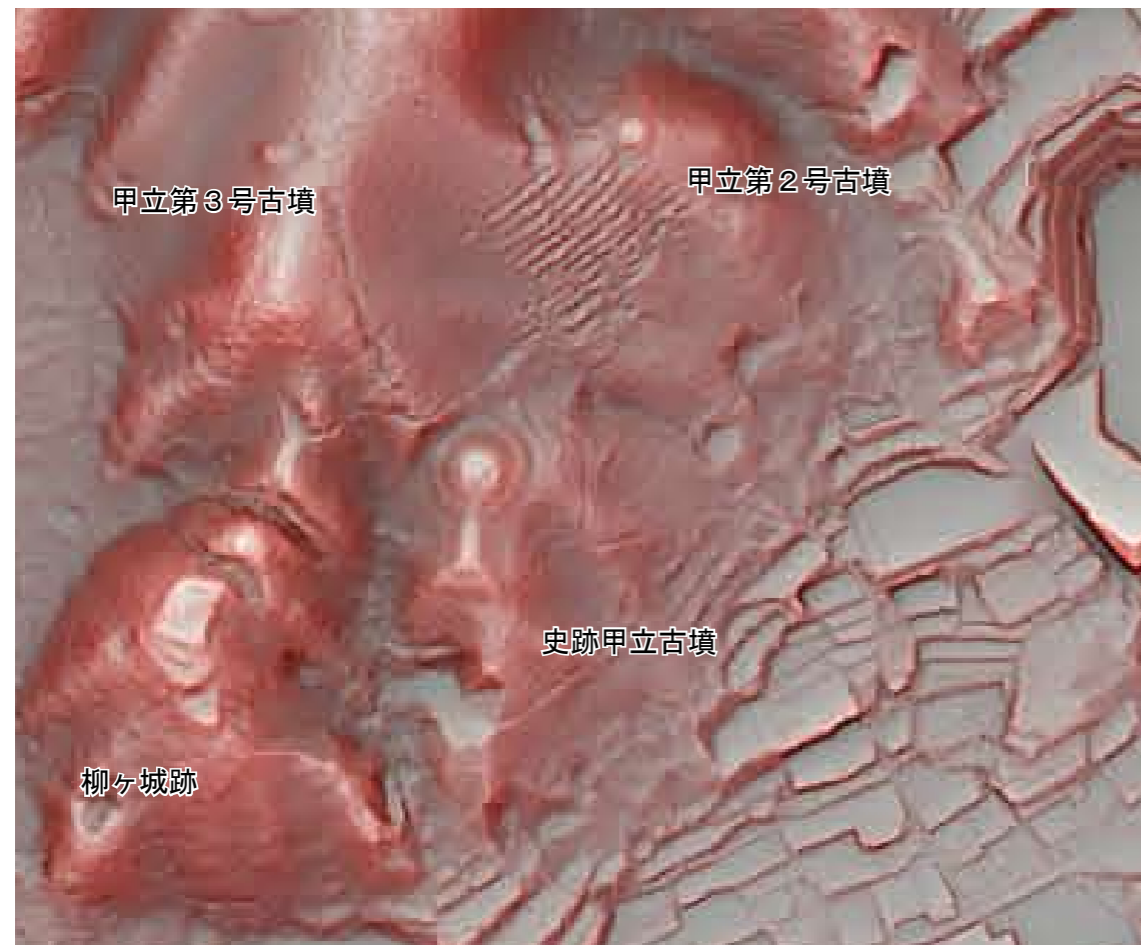
安芸高田市教育委員会では、史跡甲立古墳保存活用計画及び整備基本計画に基づき整備を検討・実施するにあたり、これまでの確認調査では明らかにしてなかった墳丘とその周辺の遺構情報（規模・形態・遺存状況等）を明らかにすることを目的とし令和元年7月16日から開始した。

## 甲立古墳の概要

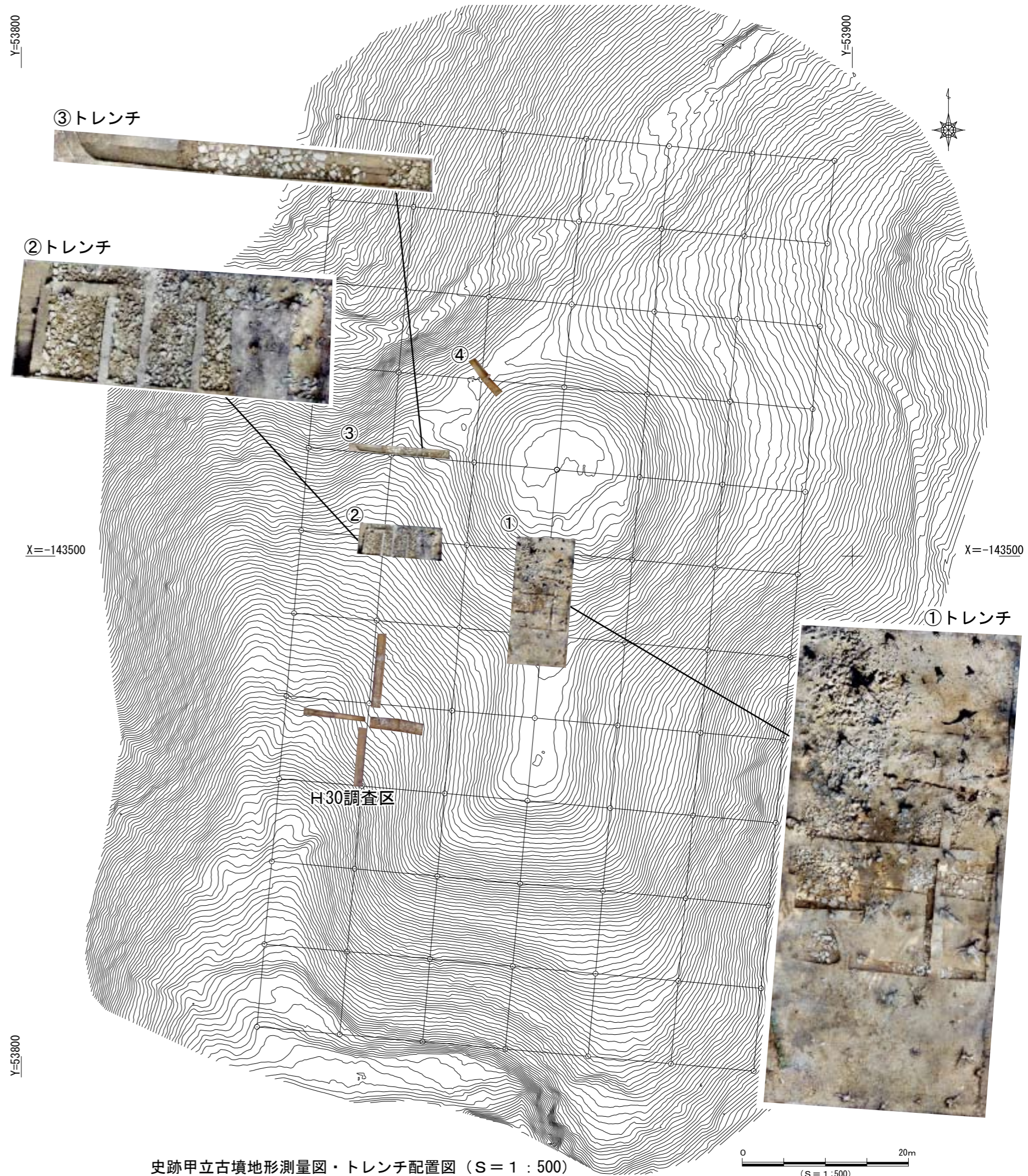
- 所在地 安芸高田市甲田町上甲立字菊山
- 立地 山塊斜面
- 比高 60 m（山麓から）
- 墳形 前方後円
- 規模 墳長約 78 m
- 外表施設 葺石、埴輪列、石敷区画
- 埋葬施設 墳頂中央で検出（平成 23 年度）掘方規模は 7.8 m × 2.8 m 長軸は南北方向 深さなど詳細不明
- 出土遺物 円筒埴輪（普通、朝顔、楕円）器財埴輪（家、蓋、甲冑、船、鞍、盾）
- 築造時期 古墳時代前期後半後葉から前期末（4世紀後半から末）

## 事前遺構確認調査の成果（令和元年12月13日現在）

- ①隆起斜道（前方部墳頂と墓壇がある後円部墳頂を結ぶ道）を検出。
- ②後円部北西側の掘り込み位置と後円部第1・2斜面の収束と第2テラス及び埴輪樹立痕、地山造成面、外縁に石敷き遺構
- ③大規模な基礎工事（地山の削り出しと盛土による墳丘造成）



史跡甲立古墳周辺の遺跡分布



史跡甲立古墳地形測量図・トレンチ配置図（S=1:500）

①トレンチ



①トレンチ隆起斜道と後円部第2テラスの接点1 (東から)

②トレンチ



②トレンチ礫敷検出状況1

③トレンチ



③トレンチ西から



①トレンチ隆起斜道と後円部第2テラスの接続地点2 (南西から)



②トレンチ礫敷検出状況2



③トレンチ礫敷と地山造成面1



①トレンチ隆起斜道埴輪樹立痕検出状況



②トレンチ埴輪樹立痕検出状況



③トレンチ埴輪樹立痕